

「今月の1枚」



シモバシラ *Keiskea japonica*

シソ科の多年生草本植物。厳寒の冬季に地表付近の茎が割れてしみ出た水が凍る様を霜柱が立つように見たてることから名前が付いた。花期は9月頃で、花が一方に偏って花穂を形成するのが特徴（写真参照）。シモバシラ属は東アジアに特有で、日本には本種1種があるのみである。属名は明治の植物学者伊藤圭介にちなんでつけられた。[キオン](#)と同様に一帯で二ホンジカの生息頭数が増加するにつれて急速に増えてきている。

（写真，文：奥田史郎 高知県四万十市（旧西土佐村）八面山山頂付近にて撮影）

（NO.161 2007.10.17 掲載）